



国際ロータリー第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

御殿場 ロータリークラブ 週報

第2631回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘講堂
- 開会点鐘 / 12:30
- 国歌斉唱
- ロータリーソング / 四つのテスト
- 内容 / 御殿場RCとともに
YMCA東山荘 滝口敦子様



会員慶事

- 会員誕生日 / 5月9日 池谷正徳君
5月10日 戸栗太平君
- 夫人誕生日 / 5月6日 森田義彦君 ご夫人 公子様
- 結婚記念日 / 5月8日 池谷正徳君 潤子様 ご夫妻
5月11日 菅沼良将君 亜沙美様 ご夫妻
- 皆出席 / 4月23日 大胡田明寿君 (ロータリー歴12年)
4月24日 稲葉博之君 (ロータリー歴37年)
4月28日 長谷川雅也君 (ロータリー歴5年)
4月28日 鎌野篤志君 (ロータリー歴5年)

会長挨拶

白井良太



マスターズ・トーナメントで松山英樹選手が優勝しました。日本人の歴代招待選手を調べてみたら、河野高明選手が1969年に13位タイ、1970年に12位、1971年は予選落ち、1972年は19位、1973年は51位と活躍しています。160cmの小さい体でしたので「リトル河野」と呼ばれていました。ジャンボ尾崎は1972年から19回招待されていて、1973年の8位が最高成績で、予選通過が9回でした。

私がゴルフを始めたのは1971年頃で、当時は安田春雄、河野高明、杉本英世が“ピック3”と呼ばれていました。その後、ジャンボ尾崎、コンコルド青木、サイボーグ中島の「AON時代」が来るのです。

河野高明で思い出しましたが、彼は1973年に富士平原GCでファースト・フライトがスポンサーで行った男子ゴルフ・トーナメントで優勝しました。今では富士平原GCで男子トーナメントなどよくできたと思いますが、野球を辞めた金田正一氏が

ファースト・フライトと一緒に企画したとのことでした。

1973年にマスターズ8位となり、当時売出し中のジャンボ尾崎も出場していました。試合前の練習ラウンドでジャンボと金田氏が一緒に回っているのを見学しました。後ろ姿を見ると両者の腰やお尻の大きさが全然違い、ジャンボが野球で大成しなかったことが納得いきました。ただ、彼が野球からゴルフに転身したお陰で、それまで職人の世界となっていたプロゴルファーがスポーツアスリートと認められるようになりました。

因みに、その頃の富士平原GCのオーナーは広瀬家でして、息子の広瀬義兼さんは御殿場ロータリークラブの元会員で、中部銀次郎と並んでアマチュアゴルフの1・2を争う人でした。



会長挨拶用
QRコード

4/22の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
54名	53名	46名	86.79%	100%

欠席者(7名)

※やむを得ず欠席される方は、
午前9時50分までにご連絡下さい。



ROTARY OPENS
OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

次回
5月13日の
例会

- ★東山荘食堂
- ★6:40点鐘 [早朝例会]
- ★親睦活動委員会
- 日本野鳥の会 菅 常雄様

PETS 報告



副会長（会長エレクト）

橋本喜市君

3月28日、リモートでの開催となった PETS に渋谷次期幹事と参加しました。会議は10時30分より始まり、志田ガバナー・甲府北クラブの小林聡一郎ガバナーエレクトの挨拶、高野孫左衛門RI研修リーダーの講話、ガバナーエレクトによる次期RI会長テーマの解説および次年度の方針についての説明などがありました。また、2021～2022年度に向けての国際協議会は、新型コロナウイルスの世界的蔓延により全てオンラインでの開催になったとのことでした。

次年度のRI会長はインドのシェカール・メータ氏です。年度テーマは SERVE TO CHANGE LIVE 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」です。そこに込められた想い・キーワードは、「GROW MORE」(もっと成長しよう)「DO MORE」(もっと行動しよう)です。「もっと成長する」とは会員を増やし参加者基盤を広げること、「もっと行動する」とは、より大きくインパクトをもたらすプロジェクトを意味するという事です。

世界の会員数は過去17年以上120万人の横ばいが続いており、それを130万人に増やすことが目標です。それには「Each one, Bring one」(みんなが1人を入会させよう)。各ロータリアンがたった1人を入会させれば、目標がかなえられます。

以上のことを受け、地区では「新たな時代を生きるロータリー」をテーマに掲げました。

2019年度までは地区内会員数3000人をキープしてきましたが、昨年度は2858人に、今年度は1月現在で2898人となっており、今後は会員数を3000人台まで回復させることを目指しています。また、「1グループ1クラブを新たに創立させる」それも若い世代と女性の会員での創立ということを目指して掲げました。まさにRIの会長のGROW MORE (もっと成長する)を推進し、「Each one, Bring one」と会員増強についての強い意気込みがうかがえます。会員増強については御殿場クラブも日々念頭におき努力を続けておりますが、次年度も継続して増強に臨みたいところです。

インパクトをもたらすプロジェクトについては、地区は各クラブに「ロータリー奉仕デー」と称したイベントの開催を要請しました。その開催方法についてはいくつかの難しい条件が付くなど、3月24日の事前説明会や PETS での説明では要領を得なかったため、今後の会長幹事会にて分区内のすり合わせを行う予定です。

まとめますと、2021～2022年度 地区運営重点活動は、

- ・会員維持に注力した会員増強
- ・若い世代 1グループ1クラブの創立 (RI各クラブ要請事項 若い世代の増強)
- ・「ロータリー奉仕デー」のイベントの開催 (RI各クラブ要請事項)
- ・グループ合同による IM 開催
- ・RIの運営定着とクラブでの応用活用

その他に、従来のクラブ戦略計画とは別に、クラブアクションプランに新規に取り組み、戦略計画に示されたクラブ中長期の未来像の達成への道筋を計画・実行すること等、様々な方針・要請が説明されましたが、我がクラブとしては「会員増強」「クラブ奉仕デー」の2点を重点的に推し進め、各委員会の事業を尊重し取り組んでいければ良いと思います。

次年度、皆さま方のご理解とご協力をお願いいたします。



皆出席
神谷高義君



司会
久保田勇輝君



出席報告
菅沼良将君



白井良太君がベネファクターの認証を受けました。

ベネファクター
認証受賞